

野田市立関宿小学校 HP から

音声聞くことができます。

## 関宿郷土パンフレット

### 関宿ってどんなところ？

私たちが住んでいる関宿は、千葉県の北西部に位置し、両側には利根川と江戸川があり、豊かな田園風景が広がる町です。その昔は関宿藩があり、城下町として栄えていました。

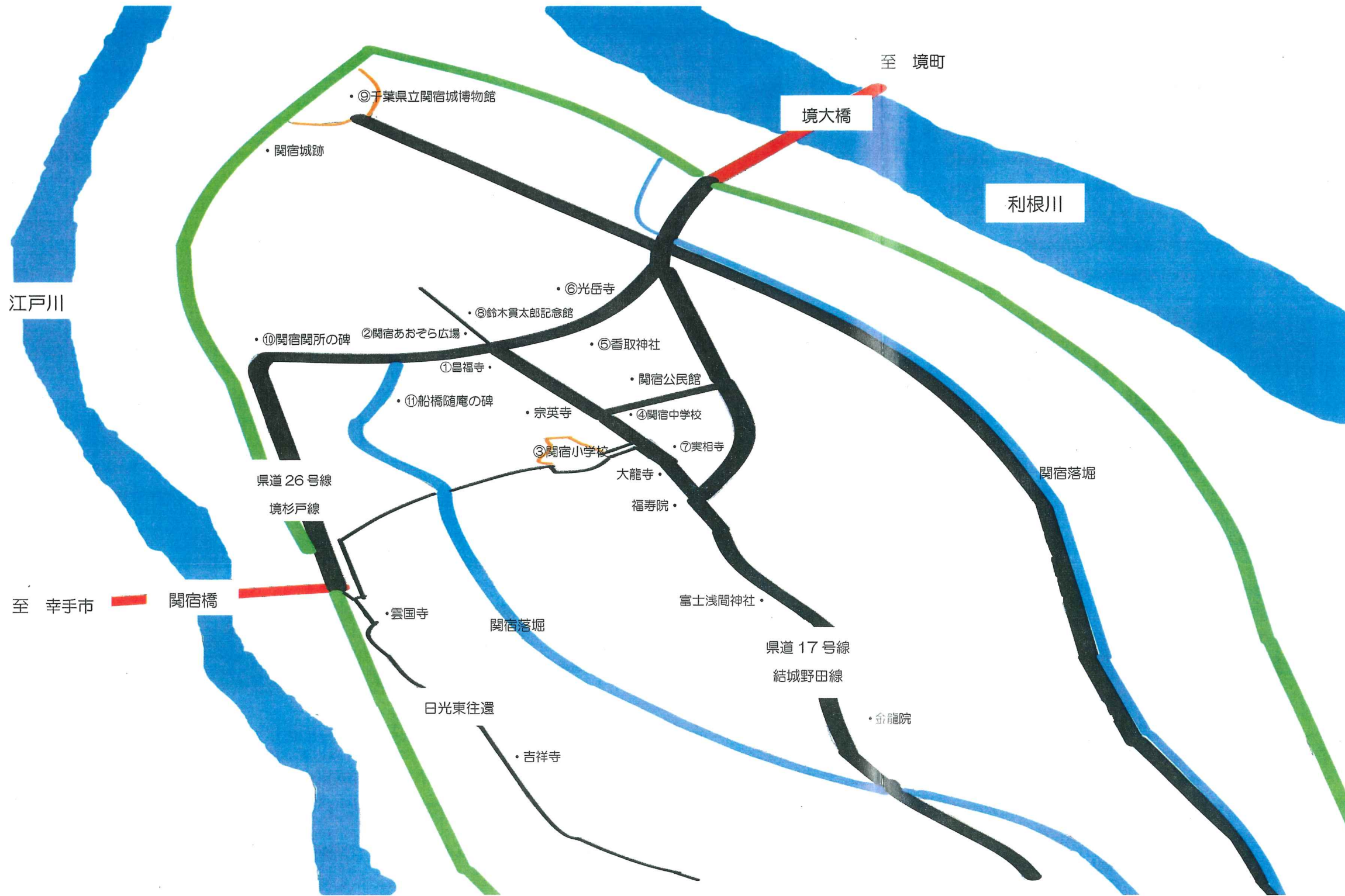
大昔、今よりも平均気温が高く、関宿の周辺は海でした。今でも多くの貝塚が残っています。その後平均気温が下がり、陸地が増え、川や沼ができました。しかし、現在のような利根川や江戸川はなく、大小様々な河川が入り組んでいました。

中世から近世にかけては、流通や治水・農地開発のため、大規模な河川改修工事が行われました。これにより、今のような江戸川や利根川の姿になりました。このおかげで、米俵を1000俵乗せられるような大きな船「高瀬船」の運行が盛んになり、関宿はさらににぎわいました。また、農業の技術や用水路が発達し、豊かな田んぼも出来上がりました。

現在の関宿では、この豊かな田畑が守られているとともに、四季折々の風景や空気を感じることができます。



# 関宿ガイドマップ



## ～永遠の平和～

鈴木貫太郎さんは、慶応3年（1868年）12月24日関宿藩の飛び地であった大阪で生まれ、5歳の時、家族で関宿に帰ってきました。小さい頃は体が大きかったけれど、泣き虫で「泣き貫」と呼ばれていました。そんな貫太郎さんに対してお父さんは「腹を立てずに何事にも頑張りなさい。」と言いました。貫太郎さんはこの言葉をずっと大切にしてきました。そしてその言葉は今、関宿小学校の校歌として歌い継がれています。

大人になった貫太郎さんは、海軍大将として活躍したり、昭和天皇のそばに仕える侍従長を務めたりしました。この侍従長として務めているときに「二・二六事件」に遭い、九死に一生を得ました。

そして昭和20年（1945年）の4月、貫太郎さんは内閣総理大臣になりました。太平洋戦争を終わらせるために尽力しました。その年の8月15日終戦を迎えました。

戦後、新しい日本の出発のために、日本国憲法を作る大仕事に関わり、平和を願う憲法が出来上がりました。

全ての役割を終えた貫太郎さんは関宿に帰ってきました。貫太郎さんは近所を散歩するのが好きで、戦争中とは違う表情だったそうです。また奥さんのタカさんといっしょに楽しい時間を過ごしました。

昭和23年（1948年）4月17日、81歳でこの世を去りました。貫太郎さんは「永遠の平和」という言葉を最期に目を閉じました。



鈴木貫太郎翁  
黒澤様所蔵



貫太郎翁から送られた時計  
関宿小学校所蔵

- ①昌福寺
- ②関宿あおぞら広場
- ③関宿小学校
- ④関宿中学校



関宿小学校は昔別の場所にありました。初めは昌福寺の中にありました。次に今の関宿あおぞら広場に移りました。そして平成11年に今の場所に移りました。関宿小のいいところは、みんな仲がいいところです。令和5年には150周年を迎えます。

- ⑤香取神社
- ⑥光岳寺延命地藏尊
- ⑦実相寺



関宿には、神社やお寺がたくさんあります。五穀豊穰、川の安全を祈願して香取神社が建てられました。また、初代関宿城主、松平康元とつながりのある光岳寺、鈴木貫太郎さんのお墓がある実相寺など、歴史と深い関わりのあるお寺があり地元の人から大切にされています。

- ⑧鈴木貫太郎記念館
- ⑨千葉県立関宿城博物館



関宿には鈴木貫太郎記念館と関宿城博物館があります。関宿城博物館では関宿城の歴史を紹介しています。鈴木貫太郎記念館は貫太郎さんが使っていた物や歴史について紹介しています。

- ⑩関宿関所の碑
- ⑪船橋随庵の碑



関所があった頃のことわかる「関宿関所跡」や、関宿の稲作を普及させるための水路「関宿落堀」を整備することに尽力した「船橋随庵の碑」が今でも大切にされ、後世に伝えられています。



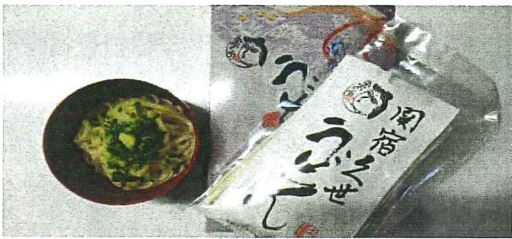
# 関宿のいいところも選



関宿は昔から豊かな水を利用したお米作りが盛んです。もともと水の流れが悪く「悪水」と呼ばれるほど水が溜まりやすい土地でした。しかし「関宿落堀」と呼ばれる水路を整備し、お米がたくさん取れるように工夫しました。現在でもお米がたくさん取れるように工夫をしています。特に力を入れているのは黒酢米で、農薬の代わりに黒酢を散布して作ります。野田のブランド米として有名です。



関宿は稲作だけでなく、酪農も盛んです。酪農が盛んになる前は、稲作と養蚕業を営んでいる家が多かったです。戦後、鈴木貫太郎さんと奥さんのタカさんの薦めで、段々と牛を飼う人が増えてきました。集乳場を整えたり、利根川の土手に牧草地を作ったりしました。今でも牧場が多数あり、牛を育て、おいしい牛乳を出荷しています。



はやま工業団地にある大成機械工業では、麺を作る機械を作っています。麺を作る機械は全国のうどん屋さんで使われています。その機械の良さを伝えるために「久世うどん」を作っています。関宿にゆかりのある「久世氏」から名前を付けられました。久世うどんは関宿の地域で食べることができます。



関宿には神社やお寺がたくさんあります。その一つのお寺が「実相寺」です。実相寺には鈴木貫太郎さん、奥さんのタカさん、兄弟の方のお墓があります。また、水子観音様もあります。水子観音様は、不幸にも生まれてくる前にお母さんのお腹の中で亡くなった赤子が、仏様の慈悲で仏の世界へ行けるよう、そして私たちを見守ってくださるようお願いを込めて建てられました。



関宿は、関東平野の真ん中にあります。昔から関東要害の地と言われ、交通などの重要な場所になっていました。戦国時代は小田原に本拠を置く後北条氏の出兵として重要視されていました。江戸時代は関宿藩として栄えました。特に河川の管理や、関所を作り交通に関することに力を入れていました。現在お城はありませんが、関宿城博物館に当時のことがわかる資料が展示されています。



関宿では、様々な年中行事が今でも大切に受け継がれています。例えば立春の後の午の日に稲荷を祭る「初午」があります。これは五穀豊穡、商売繁盛、家内安全を願って近所の稲荷神社に集まり、太鼓を叩いたり参拝したりして盛大に行われます。他にも「年豆おくれ」という行事もあります。これは節分の晩に無病息災を願って行われ、家々を回って「年豆おくれ。」と言って、年豆やお菓子などをもらいます。

制作：令和2年度千葉県野田市立関宿小学校4年生25名

〒270-0202 千葉県野田市関宿台町171番地 TEL 04-7196-0112 FAX04-7196-4831

ホームページ <https://schit.net/noda/essekiyado/>

協力(敬称略) 香取神社 光岳寺 実相寺 昌福寺 宗英寺 すし常 (有)大成機械工業 千葉県立関宿城博物館

野田市教育委員会 野田市鈴木貫太郎記念館 野田市関宿商工会 野田市立関宿中学校 渡邊牧場

印刷 (有)飯島印刷サービス